

議員勉強会を開催しました

バングラデシュで出会った美しい目を日本に伝えたい

富士見町議会は、9月26日、町役場4階の全員協議会室で議員勉強会を開きました。社会文教委員会が主催する勉強会で、講師の、国際協力NGO『エスナック教育里親グループ』（アジア・アフリカの子供達に教育をおくる会・本部、富士見町富里）代表の藤田文子さん（79）＝乙事＝は、エスナック活動の目的や現状、富士見町に本部を移した理由などについて語りました。藤田さんは45年前、フランスのテゼで、人間性を取り戻す場、「アシュラム」（ガンジーがつくった）を日本の自然の中につくりたいと考えました。その時、画家の東山魁夷の言葉「日本で一番美しい山がある県は長野だ」思い出し、「長野県にアシュラムを作ろう」と決心しました。



講演する藤田文子さん（町役場4階の町議会全員協議会室）

エスナックを始めたきっかけは、43年前、アジアを知るために出た旅で、バングラデシュの空港に降り立った時の体験からでした。空港到着は午前2時と真夜中にもかかわらず、裸で痩せた10歳位の男の子が『荷物を運んであげる』と近寄ってきました。子どもは頭の上に荷物を乗せ、ぬかるみを気遣いながら友人のイタリア人宣教師の車まで運んでくれました。藤田さんはお礼に1タカ（日本円2円）を手渡すと、子どもは泥の中にひれ伏して、何回も何回も「ありがとう」と感謝の気持ちを表したそうです。その時「その子の美しい目を日本に伝えたい」と考えました。

「バングラデシュで出会った子ども達の美しい目を日本に持って帰りたい。日本の子ども達に感謝の心を取り戻したい。富は素晴らしいことだが、日本は一番大切なものを失い掛けている。45年前からのアシュラムの夢も富士見で実現したい」と語りました。エスナックが生活支援する里子は現在、インド・バングラデシュ・エチオピア・ケニアの4千人以上。全国の里親から、里子一人に一月2500円（うち500円は事務費）の支援金を集め、養育費を送っています。今年も、350人以上が大学。大学院を卒業したということです。「一人でも多くの富士見の人が里親さんになってほしい」と呼び掛けました。

アジア・アフリカの子供達に教育を受けさせたいと世界的なボランティア活動に尽力される方が町内にいらっしゃる事を知り、議員一同その活動に対し理解を深める事ができました。（川合弘人）

議会傍聴感想

それぞれの議員の質問のスタート時間を固定したことをうれしく思います。聞きたい議員の質問を聞く事ができ、ありがとうございました。（60代 男性）

【編集後記】

今9月定例会は26年度決算を審査するにあたり、決算審査特別委員会を設置し、慎重な審査が実施されました。これは議員発議による取組であり、議会としましても、多くの手ごたえと成果を感じました。

今後の議会運営にも、良い方向で反映されていくものと思います。

より多くの町民の皆様に議会・町政に関心を寄せて頂ける様、又、親しみやすく解りやすい議会報を目指し、編集委員一致して努力してまいります。

議会、議会報についてのご意見、ご要望もお待ちしております。（議会広報編集委員 五味高幸）

<富士見町議会へご意見をお寄せください>

【No.141】平成27年10月15日発行 発行：富士見町議会 / 編集：議会広報編集委員会
委員長：川合弘人 / 副委員長：矢島 尚 / 委員：五味高幸 小林市子
〒399-0292 長野県諏訪郡富士見町落合 10777
TEL：0266-62-9403 FAX：0266-62-9320 E-mail：gikai@town.fujimi.lg.jp
印刷：(有)富士見印刷